

## 聖マリア病院を過去に受診された、または現在受診中の皆様へ

聖マリア病院では、皆様の診療情報等を利用し、下記の研究を実施しております。

研究内容につきましては、社会医療法人雪の聖母会 研究倫理審査委員会にて許可されたものです。本研究の対象者に該当される可能性のある方で、ご自分の診療情報等を研究目的に利用してほしくない場合、また、研究について詳細にお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先まで、ご連絡をお願いいたします。なお、解析用のデータが確定（データ固定）している場合は、研究データからあなたの情報を削除できませんので、ご了承ください。

① 研究課題名	妊娠糖尿病既往女性における耐糖能検査未受検の実態と2型糖尿病リスクに関する検討		
② 実施予定期間	承認後～2020年3月31日		
③ 対象患者	産後12週までに耐糖能検査を受検した妊娠糖尿病既往女性および受検しなかった妊娠糖尿病既往女性		
④ 対象期間	2015年1月1日～2017年12月31日		
⑤ 研究機関の名称	社会医療法人雪の聖母会聖マリア病院		
⑥ 対象診療科	産科・糖尿病内分泌内科		
⑦ 研究責任者	氏名	武石 千鶴子	所属 聖マリア病院
⑧ 使用する資料等	診療情報より下記事項を調査します。 1) 年齢、非妊時BMI、糖尿病の家族歴、初経産、妊娠高血圧症候群の有無、GDMの診断時期、空腹時血糖値、GDM診断時の75gOGTTの血糖値、HbA1c、妊娠中のインスリン使用の有無、分娩週数、産後耐糖能検査の75gOGTTの血糖値 2) その他の対象者の背景 婚姻状況、経済状況（保険適応など）、家族構成、職業の有無、妊娠中のステロイド投与・リトドリン投与の有無		
⑨ 研究の概要	大阪府立大学を研究代表施設とする多施設共同研究で、診療情報より得たデータを大阪府立大学へ送ります。 妊娠糖尿病（gestational diabetes mellitus：以下、GDM）は、「妊娠中に初めて発見または発症した糖尿病に至っていない糖代謝異常」を指します。このGDMは出産後耐糖能が一旦正常化しても、分娩後に境界型もしくは糖尿病に進展しやすいとの報告があります。これまでのGDM既往女性の産後フォローアップや2型糖尿病の発症に関する調査は耐糖能検査を受検した女性を対象としたものであり、未受検者に関する実態は明らかにされていません。そこで今回の研究により、産後の耐糖能検査の未受検の実態と2型糖尿病のリスクを明らかにします。		
⑩ 倫理審査	研究倫理審査委員会承認日	2018年11月13日	
⑪ 研究計画書等の閲覧等	研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できます。詳細な方法に関しては下記の問い合わせ先にご連絡ください。		
⑫ 結果の公表	学会や論文等で発表いたします		
⑬ 個人情報の保護	個人情報を保護するために責任者を設定します。研究する際も、個人を特定する情報は使用せず、特有の番号で管理します。学会で発表する場合も個人を特定できる情報は使用しません。		

⑭ 知的財産権	大阪府立大学大学院看護学研究科 山田加奈子に属します	
⑮ 研究の資金源	文部科学省・科学研究費助成金事業若手研究B	
⑯ 利益相反	研究結果に影響を与えるような利害関係はありません	
⑰ 問い合わせ先・ 相談窓口	聖マリア病院 専門外来師長 武石千鶴子	
	電話	0942-35-3322 (内線:2014)